

令和5年度より、伊勢市立小中学校では現在の2学期制から、「新3学期制」へ移行します。

伊勢市立小中学校で **新3学期制が始まります！**

学びがつながる

成長がつながる



新しい**3学期制**へ

伊勢市では、平成23年度から全小中学校で2学期制を実施してきました。
2学期制が導入されてから、約10年が経過したことから、今後の学期制の在り方について検討し、令和5年度より**新3学期制**へ移行することとなりました。

「新3学期制」とは？

「新3学期制」とは、「長期休業期間を学期の節目とすることで、学校生活のリズムをつけやすい。」「長期休業前に通知表を発行することで、長期休業期間も目標を持って過ごすことができる。」という**3学期制の良さ**を生かし、2学期制で培ってきた「**学びの連続性**」を大切にした学校教育を実施する学期制のことです。

※「学びの連続性」…長期休業期間で各学期の学びが途切れるのではなく、長期休業期間も得意を伸ばしたり、課題を克服したりする期間として位置づけ、1年間を通し、子どもたちの学びが積み上がっていくこと。

Q&A

Q 夏休み等の期間は変わるの？

新3学期制に移行しても、今までの夏休み・冬休み・春休み等の長期休業期間は大きく変わりません。

Q 学校行事など、変わることはあるの？

新3学期制では9月～12月が連続した学習期間として、落ち着いて学習に取り組むことができ、学校行事の実施時期もより柔軟に設定できるようになります。

これまでと学期の区切りが変わりますので、学校行事の実施時期や内容、中学校では定期テストの回数等を変更する場合があります。

学びの連続性を大切にした「新3学期制」とは？→詳しくは裏面で

伊勢市教育委員会事務局
学校教育課

〒519-0592
伊勢市小俣町元町 540 番地
【TEL】(0596) 22-7881 【FAX】(0596) 23-8641

学びの連続性を大切にしたい

「新3学期制」

新3学期制では、1学期を「形成期」、2学期を「発展・向上期」、3学期を「充実期」とし、それぞれの学期で「学習面」「生活面」で意識すべきことを具体的に示し、それをもとに学校教育を行います。

また、長期休業期間は「課題克服・伸長期」とし、1年間を通し学びの連続性を大切にしたい学校教育を行い、子どもたちの学びの質を高めます。

ポイント

通知表を年3回発行

長期休業前に、通知表で学習や生活の成果・課題を、児童生徒や保護者に伝えます。このことにより、長期休業期間中も目標を持ち、学習に取り組んだり生活を送ったりすることができます。

長期休業期間も学びを継続

長期休業期間は、各学期の学習面や生活面での課題を克服したり、興味関心や得意なことを伸ばしたりする期間と位置づけ、学びを継続できるようにします。

学びと成長のつながりを意識した学校教育

「学びの過程」を示し、1年間を通じ学びの連続性を大切にしたい学校教育を行います。

また、小学校から中学校の9年間での成長のつながりを大切にします。



子どもたちの学びの過程



形成期

発展・向上期

充実期

1学期

2学期

3学期

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

夏休み

冬休み

春休み

1学期

～学びの基礎の形成～

■学習

学年に応じた学習方法（発表の仕方、ノートの書き方等）の習得や学習習慣・態度の定着を目指します。

■生活

教師と児童生徒、児童生徒同士の人間関係づくりに努めます。

得意を伸ばす
課題の克服

通知表

2学期

～学びの発展・向上～

■学習

1学期に身につけた学びの基礎をもとに、主体的に学ぶ学習を展開します。

■生活

よりよい人間関係を築き、安心して生活できるよう努めます。

得意を伸ばす
課題の克服

通知表

3学期

～学びの充実・成長の実感～

■学習・生活

一年間の自分自身の成長を振り返り、次年度に向けての意欲や目標が持てるよう、学習・生活の充実を図ります。

次の学年への意欲を持つ
課題の克服

通知表